松代小学校 沿革史

嘉永６年	文武学校の校舎ができる。
安政２年	４月２９日　文武学校仮開校式が行われる。
明治４年	松代藩が松代県になる。旧文武学校の建物をそのまま使って松代県学校が開校。
	松代県が長野県に合併し、松代県学校も廃校となる。
明治５年	学制が発布される。文武学校の建物は長野県に引き渡された。その後、願いにより敷地建物ともに松代町に返却される。 10 月第 53 番小学校として松盛学校が紙屋町大信寺を仮校舎に開校。通学区は紙屋町・馬喰町・紺屋町の３字町。
明治６年	新学区制により、12 月第 54 番小学校として松代学校が旧文武学校を校舎に開校。通学区は殿町・清須町・馬場町・代官町・ 竹山町・有楽町・表柴町・裏柴町 ・寺町・厩町・下田町の 11 字町。 12 月第 55 番小学校として陽透学校が殿町岩崎宅を仮校舎に開校。通学区は伊勢町・中町・荒神町・肴町・鍛冶町の５字町。
明治７年	３月第 57 番小学校として教寛学校が御安町竜泉寺を仮校舎に開校。通学区は松山町・袋町・石切町・御安町十人町・田町の６字町。
明治 18 年	松代町内は松代学校１校に統合される。
明治 22 年	町村制実施にともない、４月東条小学校、５月西条小学校が、それぞれ松代小学校から独立する。ここで松代尋常小学校は、今の松代小学校と同じ学区の小学校となる。
明治 24 年	中廊下校舎が建てられる。
明治 26 年	西校舎が建てられる。
明治 29 年	南校舎が建てられる。
明治 30 年	９月　出水のため欠席児童３分の１におよぶ。西寺尾地区児童は舟で帰宅。
明治 31 年	中校舎が建てられる。校舎改築落成式が行われる。
明治 34 年	西体操場が建てられる。
明治 43 年	千曲川出水。校舎が全部浸水。西平屋校舎は床上 30cm 浸水。
大正８年	南校舎が増築される。
大正 12 年	午前 11 時 57 分頃３回の強震。東体操場、東方へ傾く。
昭和４年	講堂が建てられる。
昭和９年	北校舎が建てられる。
昭和 22 年	新制中学校（町立松代中学校）が松代小学校と併合して開校。
昭和 23 年	週５日制実施。
昭和 26 年	給食室が建てられる。
昭和 28 年	文武学校が文部省指定「史跡旧文武学校」となる。
昭和 28 年	文武学校 100 年記念式典。
昭和 29 年	統合中学校として松代中学校が完成し、移転する。
昭和 32 年	西寺尾地区が通学区となる。
昭和 35 年	管理校舎音楽室、公仕室、宿直室が建てられる。

昭和 37 年	７月　集中豪雨のため神田川西条地区の堤防が決壊し、全校地校舎水禍に遭う。
昭和 40 年	松代群発地震が始まる。安全を期してプレハブ仮校舎を建て、移転。
昭和 40 年	開校 110 周年記念式典。松代群発地震始まる。
昭和 41 年	長野市に合併し、長野市立松代小学校となる。
昭和 43 年	南校舎、中校舎の竣工祝賀式。
昭和 44 年	卒業生の寄贈により、図書館に飯島文庫が開設される。
昭和 48 年	文武学校の解体修理が始まり、文武学校が松代小学校と分離する。
昭和 49 年	文武学校文学所の修理が完了する。SBC 子ども音楽コンクール優秀賞受賞。
昭和 50 年	開校 120 周年記念式典。山上武夫作詞、足羽章作曲の校歌が制定される。
昭和 51 年	飯綱スキー場で初めてのスキー教室が開かれる。
昭和 53 年	旧中校舎増築、便所改築完了。合唱部、東日本大会に出場。「月のうさぎ」を熱唱。
昭和 57 年	新体育館完成。講堂、昭和４年以来 54 年の歴史に幕。
昭和 59 年	若草会、文部大臣表彰を受ける
昭和 60 年	開校 130 周年記念式典。長岡助次郎先生顕彰碑序幕。
昭和 62 年	現プール完成。
平成４年	海津マラソン大会開催。
平成５年	長野インター開業。松代小中庭敷地に文武学校槍術所が復元。
平成６年	平成６年度みどり会、阪神・淡路大震災被災地に 185,336 円の義援金を送る。
平成７年	開校１４０周年記念式典。地域ぐるみで『松代の伝説』を発刊。
平成８年	合唱部、子ども音楽コンクール全国大会にて「こきりこ」を熱唱。文部大臣奨励賞受賞 日本一の栄冠に輝く。
平成 10 年	旧卒業生より８８万円（八八基金）贈られ、図書室整備がすすむ。 長野オリンピック開催。一校一国運動でカナダ選手来校。
平成 11 年	北校舎　音楽棟竣工。
平成 12 年	松代歴道事業で、校地東側に「土塀」完成。
平成 13 年	校庭西側神田川土手に杏４０本植樹。
平成 14 年	松代花の丸児童センター落成。
平成 16 年	エコールド松代倶楽部と連携した地域密着型のクラブ活動が始まる。
平成 17 年	開校 150 周年記念式典。『文武学校・松代小 150 年の歩み』刊行。
平成 19 年	インド交流　渡印。
平成２１年	花の丸児童プラザが本校北校舎多目的室に開校。
平成 23 年	校舎南側に「土塀」設置。
平成 24 年	南校舎、中校舎改築工事着工。 全日本音楽研究会長野大会で本校授業公開。
平成 25 年	新校舎完成。２学期より校舎使用。
平成 27 年	開校 160 周年記念式典。つまよーじアートによる佐久間象山先生肖像画制作。 松代版コミュニティスクール「松代っ子を育む会」発足。
平成２８年	合唱部、NHK 全国学校音楽コンクール長野県大会銀賞。子ども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会出場。
平成２９年	中華人民共和国大連市甘井子実験学校児童来校。

平成３０年	平成３１年度使用にむけて、全普通教室にエアコン機器の設置工事が開始。
令和元年	台風 19 号により、10 月 13 日(日)深夜、神田川越水、校庭から体育館周辺浸水。農具庫、花の丸児童センター床上浸水。自衛隊による校庭水抜き作業が実施される。神田川、蛭川越水により床下、床上浸水被災家庭 25 軒。 新型コロナウイルス感染症流行。文科省、令和 2 年 2 月 28 日付で全国の学校に臨時休業等を通知。長野市内小中学校は、3 月 3 日より臨時休業に入る。
令和２年	新型コロナウイルス感染症対策のため 4 月 11 日～5 月 29 日臨時休業。5 月 11 日～29 日希望者地区毎分散登校実施。 台風被害校庭復旧工事竣工。 エアコン稼働開始。 長野県教育委員会 UD 実践校。「だれもが安心して過ごせる学校づくり」を実践。
令和３年	長野県教育委員会学びの改革実践校二年目。 子どもの願いから生まれた運動会児童会種目。 オンラインによる他校との交流学習の進展。 松代・清野・西条連携諏訪松本修学旅行。 長野市教育委員会主催藩校サミットへの参加。 佐久間象山先生像設置。
令和４年	長野県教育委員会学びの改革実践校三年目。 長野市教育委員会主催、真田サミットｉｎ松代への参加。
令和５年	４年ぶりに全校揃っての入学式。 ９月「松代Ｊｏｂゼミ」を初開催し、地域の１８の事業所のお力を借りて仕事への思いに触れた。 １０月「地域防災連携学習」実施。 ４年ぶりに全校揃っての卒業式。
令和６年	授業づくり研修会、教育課程研究協議会、信教全県研究大会で授業公開。 「松代Ｊｏｂゼミ」は、台風接近による臨時休校のため、中止となる。 地域の皆様のご協力により、開校 170 周年記念事業の一環として、理科室、家庭科室にエアコンを設置していただく。